



行健中学校だより



第3学期スタート～始業式校長式辞から～

19日間の冬休み、この日数を短いと思うか長いと思うか、人それぞれである。

皆さんにとってどんな冬休みでしたか？

2学期の終業式では福沢諭吉の「学問のすめ」から「独立人を目指す」ことについてお話をし、一人一人が自分の目標をしっかりと立て、学ぶことの大切さを考え、一人ひとりが「夢をもつこと」「学ぶこと」の大切さを考えたい、とお話をしました。

「今年こそ！」という決意や目標を決めましょう。

新しい年が皆さんにとって希望に満ちた素晴らしい年になることを願っています。

新年というと「一年の計は元旦にあり」ということばが思い浮かびます。

実はこのことばは、「月令広義」（げつれいこうぎ）という中国の明の時代に表された一年間の政治や儀式、民間行事などを月の順番に書き記したものが元になっているようです。「月令広義」には、このあと「一日の計は晨に在り 一年の計は春に在り 一生の計は勤に在り 一家の計は身に在り」と続きます。

このことばに関して、ある作家の次のような話を聞いたことがあります。

彼は、若い頃大学受験に何度も失敗をしてしまった。しかし、何度も浪人し、年を重ねると、勉強の計画づくりだけは名人の域に達する。一年の計は春にあり。と今年こそ受かってみせる。堅く誓う。頑張るぞとばかりに綿密な計画を立てる。4月はこの科目をここまで、5月はこのまで仕上げます。そのためには第1週はここまで、第2週はここまで。そのためには1日目はここまで2日目は、ここまでと定める必要があります。何日もかかって綿密な計画が完成する。これで大丈夫と安心して、気がゆるむ。安心して何日か遊んでしまう。これで大丈夫と安心して、気がゆるむ。ふと気がつくとき五月が近い。

そこで、計画表を作り直す。また何日かして計画ができあがる。こうした経験を積むと、受験に失敗する代わりに、計画表の周囲に花模様を描いたりして、見た目にも立派な「作品」ができるようになるそう。愉快にして深刻な失敗談だが。私もこんな経験があり、この作家の気持ちがよくわかります。

そしてこの方は、「最初にきちんとした計画を立てることは

大切なことである。しかし、もっと大切なのは、計画をきちんと実行することである。」とお話していました。

さて、正月の恒例の箱根駅伝、テレビで観戦した人も多かったと思います。

今年も、各大学の代表選手が素晴らしいレースを展開してくれました。そして、今年もやってくれました。福島県出身の東洋大学3年生 柏原竜二選手が、急勾配の箱根の山登りを、期待の通り力強い走りを見せ、多くの人に元気を与えました。

しかし、出場した各チームとも各選手の特長に合わせ、綿密な計画のもと練習を積んで臨んだ大会だったはず。それでも、いろいろな条件の下、本当にいろいろなレースが展開されるものです。

何の計画もなく闇雲に走ったらどうだったのだろうと思います。まさに計画があり、それをいかに実行するか、その大切さを見た思いがしました。

さて、3年生は受験本番の正念場です。人が、本気になって頑張ってくると、顔つきが立派になって変わってくるものです。私達にはそれがわかりますし、そうなることを期待しています。

2年生、これからの行健中学校を引き継いでさらに発展させていく立場になります。

1年生は、間もなく後輩が入ってきます。いつまでも下級生のままではありません。幼稚な考えや行動から脱してください。

最後に、ふたつのことをお願いします。

- (1)「礼儀正しいあいさつと身だしなみ」
- (2)「無言で心を込めた時間一杯の清掃」

このふたつのことは、まだ十分に徹底されているとは言えないように思います。このふたつのことは、皆さんが立派な人に成長するためには欠かせないことです。ぜひ、心がけてほしいと思います。

生徒諸君と先生方を含めた全てが、さらに前進して大きな幸運をつかむことができるよう、自分に負けることなく、学校全体がひとつになって頑張っていくことを新年にあたり決意し、平成23年スタートのあいさつといたします。



第3学期始業式

始業式では、式辞の中で齋藤正徳校長から、3学期は「福沢諭吉の言う独立人たるべく夢や目標をもつこと」、「古来、一年の計は元旦にあり」と言うが、計画を立てることは大切だが、もっと大切なのは、計画をきちんと実行すること、「礼儀正しいあいさつと身だしなみを大切にすること」、「心を込めた時間いっぱい無言清掃をすること」に力を入れて取り組みましょうとの話がありました。

また、生徒を代表して生徒会書記の益成さんと1年生の田中君が、3学期の抱負を発表しました。それぞれ、エコ活動や挨拶運動などの全校生での取り組みや、個人としての目標など、1年間のまとめと進学・進級の時期となる3学期のスタートにふさわしい具体的に力強い発表をしてくれました。

全校生も、校長式辞や生徒発表を聞き、改めて3学期、そして新年の抱負や目標を一人ひとりが自覚することができたようです。今学期も、充実した学校生活となることが期待できます。



【来週の主な予定】

- 17日(月) 月12345:B案
○柔道着販売 7:30～ 体育館入口
- 18日(火) 火123456:B案
○県立I期出願(～19) ○柔道部7:30～
- 郡女大附属高校(特待・連(れい)入試
- 尚志高校(特待推薦・併願推薦)入試
- 19日(水) 水123456:B案
○郡女大附属高校(AO生)入試
- 尚志高校(一般専願・併願)入試
- 学法石川高校入試 ○カ-ルカ-
- 20日(木) 木123456:B案
○尚志高校一般併願面接
- 帝京安積(推薦選考)入試
- 21日(金) 金12345:B案
- 22日(土) ○英語検定 900
- バレーボール1年生大会
- 23日(日)
○郡山支部中学生剣道練成大会
- 県中ジュニアバドミントン大会



第3学期始業式～生徒代表発表～



『3学期の抱負』 生徒会書記 益成さん

皆さんは、冬休みをどのように過ごしましたか。三年生の先輩方は、受験という大きな壁を目前に控えて、学習に励まれてこられたと思います。新しい年を迎え、改めて志望校を目指し、三学期は、体調管理に気をつけて、悔いが残らないようラストスパートに全力を注いでいただきたいと思います。

一、二年生の皆さんは、三学期に向けてそれぞれの学年の締めくくりとして、新しい年だからできること、今だからできることを実践してみたいですか。そして、私たち後輩は、三年生の先輩方が受験に向けて励まれる姿を心に刻みながら、一年後、二年後に控えている受験に対するモチベーションを高める時期だと思います。

私の三学期の抱負は、生徒会活動と部活動の両立、受験勉強に向けて真剣に取り組んで頑張りたいと思っています。

昨年、初めて生徒会の一員となり活動してきました。活動にもなれてきて、生徒会がどういう活動なのか分かってきました。改めて、生徒会役員の一員として活動できて良かったと思っています。新メンバーで新たなテーマ「咲かせよう大輪の花の笑顔」と決めました。生徒の皆さんが、学習や部活動を通して、毎日を笑顔で過ごせることができるように生徒会で頑張っていこうと思っています。学習面での抱負は、私にとって受験はまだ遠いと思っていましたが、来年は私たち二年生が受験生となるので、進路を見つめ直し真剣になって気を引き締め、学習に力を入れたいと思います。

生活面では、体調管理に気をつけたいと思います。そして、何か問題が起きた時に、どのような行いが正しいのか、その場に対応した判断がきちんと自分で行えるのかどうか、もう一度見つめなおして生活しなければいけないと思っています。三学期は、三年生になるための準備として、今の緩んだ生活を引き締めたいと思います。

生徒会では、他の学校と協力して「エコキャップ運動」を行うのでご協力をお願いします。他にも、今行っている水道料金削減やあいさつ運動、TEAM 発行も続けていきたいです。エコキャップ運動については、年末の TEAM 3号に掲載し、終業式でも詳しい説明をしました。キャップは一個、0.025円となり、800個で一つのポリオという病気のワクチンになります。発展途上国の人々に一つでも多くのワクチ

ンを送れるように、全校生一丸となって、ペットボトルのキャップを集めましょう。目標は50kgで2万個です。一人30個以上持ってくれば達成できますので、ご協力お願いいたします。

最後になりましたが、あいさつ運動に関して毎朝感じていることがあります。すごく簡単なこと、「おはよう」と一言あいさつするだけなのに難しい。毎朝、「おはよう」とお互いに良いあいさつを交わせたなら、すぐに「大輪の笑顔」が咲くでしょう。それは理想であって、なかなか難しいのが現実です。正直言えば、私も体調が悪い時、落ち込んでいる時は、心底からのあいさつはなかなかできません。あいさつは心のシグナルとも言えるのではないのでしょうか。今日は、あいさつを交わさなくても、明日、一週間後、一ヶ月後に交わせるようになっていれば素敵だと思います。素敵な笑顔で最高のあいさつを交わすことができる行健中学校を目指し、気持ちの良い一日のスタートをきりましょう。

これからもご協力お願いいたします。



『新年の抱負』 1年7組 田中くん

今回、この作文を書くにあたって、今の自分に足りないものは何だろうかと考えました。そして、生活、学習、部活動全てを見直してみました。

この行健中学校で一学期、二学期と過ごしてきたなかで、自分の失敗の多くには、同じことが関係しているということに気づきました。それは、最後の少しで、些細な間違いをしてしまうことです。

テストでのケアレスミス、大会でも最後なんとなく力が抜けてしまう、自分の詰めの甘さにながれんとさせられます。

ですから今年は、この言葉を心に留めておきたいです。「百を志す者、九十を半ばとす」という言葉です。

今年は、この言葉の通り、最後まで気を抜かず、精一杯、力の限り過ごしていきたいです。

残り少ない一年生としての生活、四月から始まる二年生としての生活、昨年の失敗を生かして後悔のないように、有意義に生活して、また来年、今年を振り返ったとき、素晴らしい一年だったと思うようにしたいと思います。

栄光の記録

【第11回 三汀賞】

○ 中学生の部 優秀賞 和田山くん

こおりやま文学の森資料館が主催する「三汀賞」は、こおりやま文学の森資料館が、郡山市出身の作家、久米正雄の俳号「三汀」にちなみ広く俳句を募集するものです。

本校では、3年生が全員、国語の授業で作った俳句を応募しました。1、2年生も多数応募しています。その中で、今回、3年生の和田山晃大君が中学生の部で見事に優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。

青空や散らかしたまま去る台風

和田山くん

PTA朝のあいさつ運動

火曜日、PTA生活委員会による朝の挨拶運動が行われました。PTA会長様はじめ、PTA生活委員の皆様が校門で「おはようございます」と声をかけて下さいました。氷点下の中、早朝からありがとうございました。



インフルエンザに係る出席停止について

市内の小中学校でインフルエンザに罹患する生徒が出始めています。うがい、手洗いの励行など、日ごろから予防に努めることが大切です。

なお、郡山市では、新型、季節性共に、発症日を0として、翌日から7日間（原則）を出席停止期間としています。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。